



ちちぶの医療現場から



秩父郡市歯科医師会
吉田 久 会長

市民の皆さんにとって、関心のある『ちちぶの医療』。
日夜、奮闘されている医療の現状についてシリーズでお伝えします。
第6回目は、【地域医療について】秩父郡市歯科医師会 吉田久会長です。

◆秩父郡市歯科医師会の歴史と活動

本会は昭和10年1月に、埼玉県歯科医師会の傘下の支部歯科医師会として秩父支部が創立されて一昨年、創立80周年を迎えました。地域に根差した歯科医師会を目指し、関係行政機関ならびに医師会、薬剤師会等の関係医療団体との関係を密に日々の地域医療活動を行っています。秩父地域住民の皆さんへ、充実した歯科医療・保健サービスと最新の歯科医療を提供し、また会員が日々進化する歯科医療技術等習得のために研さん、研修を支援する学術団体で、皆さんのお近くの歯科医院、診療所の歯科医師の集まりです。

◆行政との委託連携事業・活動

昨今、歯とお口の健康は全身の健康に寄与している事が、数多くの証拠の裏付けにより明らかになってきています。生涯にわたる、地域住民の皆さんの健康な生活の確保と、社会福祉の増進に貢献することを目的として、乳幼児から高齢者にいたるまで全てのライフステージに応じた歯科医療・口腔保健が求められており、それらを提供するために行政と共に次のような事業を行っています。

①ライフステージに則した健康増進・予防推進事業

- (1) 乳幼児期・小児期：母子保健、乳幼児健診事業において1歳6か月児健診、2歳児健診、3歳児健診を実施し、むし歯予防を中心とした健康増進、予防推進を行っています。また、プレママ教室(母親学級)などを実施し、妊娠中の健康管理やお母さんの食生活・栄養・喫煙・飲酒などのライフスタイルが生まれてくるお子さんの歯の健康に影響していることを指導しながら妊娠中のお母さんを応援します。
- (2) 学童期：会員は学校歯科医として、児童生徒等学校歯科健康診断を中心に歯科保健に関与し、むし歯予防を中心としての取り組みでは大きな成果を上げています。近年は子どもの現状を踏まえ、咀嚼などの口腔機能の未発達や疾患の増加、食育の重要性などにも指導や対策が求められています。これは、子どもたちの生活環境や食生活の影響に繋がるものであり、歯・口の健康づくりの充実に向け努めています。
- (3) 成人期：生活習慣病予防が“かかりつけ歯科医”としての新たな使命となってきています。歯周病健診を実施、また広く地域住民の皆さんに健診を受けていただく取り組みとして、秩父郡内の市町の健康まつり会場における無料歯科健診、歯科相談、口腔がん検診などを実施し健診の必要性・口腔ケアの重要性についての啓発活動を実施しています。
- (4) 高齢期：さまざまな疾患の原因となっている口腔機能の低下は、結果的に免疫力が低下し感染症などのいろいろな病気にかかりやすくなり、寝たきりや認知機能の低下にもつながる危険があります。それを維持、予防する事で認知機能の低下予防、さらに健康寿命の延伸にも寄与するといわれています。そのための、口腔機能の維持・向上を目的とした講習会等事業を実施するとともに普及啓発を行っています。

②在宅休日歯科診療を、会員による輪番制で開設実施し、2日以上続けて休みになる日および年末年始などの大型連休を中心に、住民の方の不意な痛み等の急患に対応しています。

③障害者歯科相談医を中心に、いち早く平成16年より障害者通所施設等における健診を行っています。結果、施設による差はありますが、むし歯の罹患率は確実に低下し、また口腔ケアへの関心は確実に向上してきています。ここ数年は、施設職員へのブラッシング指導・勉強会なども実施し、介護者・保護者への啓蒙も進めています。

④災害時における医療救護活動に関する協定を1市4町間で締結し、行政と三師会が一体となり万が一の災害時には傷病者のケアについて、迅速かつ適切に対応するための組織づくりをしています。

◆「地域包括ケアシステム」における地域医療介護総合確保事業

少子高齢化が急速に進む中、在宅歯科医療、介護のニーズへの対応および整備推進が急がれています。また、多職種連携・協力を進めながら、職種間の顔の見える連携づくりのため情報の共有に努めています。

- (1) 在宅歯科医療の実施に係る拠点・支援体制の整備事業として、「秩父郡市在宅歯科医療推進窓口」を開設し、専任の衛生士を常駐させ相談業務とともに訪問診療等に対応しています。
- (2) 地域支援病院やがん連携病院、一般病院等の入院患者に対する歯科医療実施の推進、歯科医師の派遣、また一生を通じた切れ目のない歯科保健、医療の提供のために口腔アセスメントおよび管理を実施し、診療の相談ならびに必要なに応じて訪問歯科診療を行っています。

◆最後に

最近、マスク等でも口腔内疾患の改善、口腔機能の維持が誤嚥性肺炎ごえんの予防や脳血管障害の予防、糖尿病予防や重症化防止、また認知症の進行抑制などに影響していることが取り上げられています。さらに、超高齢化社会を迎えた現在、高齢者の方の望みは「最後まで自分のお口でおいしく食べて、長患いをせず周りのものに迷惑をかけることなく天寿を全うすること」に他なりません。そのためにも“かかりつけ歯科医”として地域住民の皆さんの医療を担っていけるよう会員一同努力してまいります。